

牛群検定の利活用などについて解説記事を掲載しています

1 牛群検定における品種別検定成績について

畜産コンサルタント、デリーイマン、デリーイジャパン、酪農ジャーナル、畜産会経営情報の各11月号、畜産技術12月号、

本誌先月号で紹介したホルスタイン種、ジャージー種、ブラウンスイス種の3品種の牛群検定成績が各専門誌に掲載されました。各当団のホームページに詳細が掲載されています。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/newmilk/index.html>

乳牛最新情報

検索

2 新しい検定成績表について（その23）－牛群平均情報の活用（ホームページ紹介）－ LIAJニュース（家畜改良事業団）N o 1 3 7 平成24年11月号

当団のホームページには、検定成績表の都道府県平均値などいろいろな情報が満載されています。平均と比較することで、みなさんの酪農経営の良いところと改善すべき点が見えてきます。冊子の入手については、最寄りの種雄牛センターまたは事業所にお問い合わせいただければ、無料でお送りします。

バックナンバーは、以下の当団ホームページをご参照下さい。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

牛群検定情報

検索

いよいよ本格的に寒くなってきました。冬支度は万全ですか？

冬季に乳量が落ちていませんか？標準乳量などを確認して、乳量が落ちているときは次の点を確認してみてください。

①分 娩

羊水で濡れた子牛は急速に体温を失います。清潔なバスタオル等で速やかに拭き取ってください。

②子 牛

ルーメンが未発達な子牛はルーメンの発酵熱を得られないため、成牛と比べ著しく寒さに弱く、寒冷対策が必要です。ウオーマー（ジャケット）などの利用も効果的です。

③換 気

冬季も換気は必要です。換気が不十分だとホコリやアンモニア濃度が高まり、肺炎などの呼吸器系の疾病を誘発させます。また、子牛の場合は逆にすきま風が直接あたっていないかチェックします。

④敷料の乾燥

糞尿で濡れた敷料は牛の体温を奪うばかりでなく、凍結による横転など思わぬ事故を招きます。敷料はこまめに交換しましょう。体に付着した糞などはもってのほかです。

⑤十分な粗飼料

通常でも粗飼料は大切ですが、寒冷が厳しい場合はルーメン発酵熱により緩和することが出来ます。

⑥飲 水

できれば給水を暖めてやると、飲水量が増加し耐寒性を高めます。もちろん、凍結には十分に注意しましょう。

冬季の乳房炎にご注意を！乳頭の肌荒れ

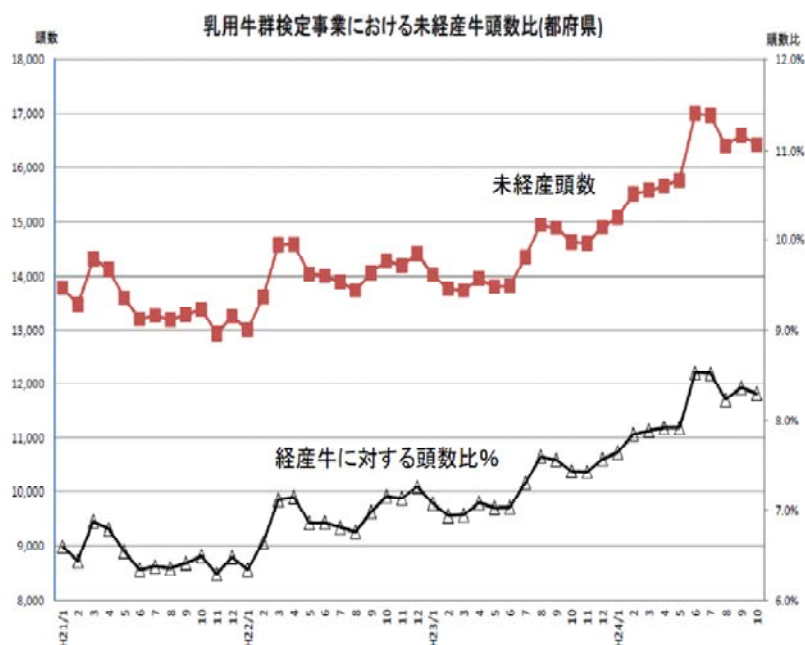
乳房炎は体力の低下する夏季に多い疾病ですが、冬季も油断できません。搾乳後にディッピング剤などで乳頭が濡れたまま寒風にあたると、人間の霜焼けと同様に、乳牛の乳頭も霜焼け状態になりひび割れなどの肌荒れをおこします。するとそこには黄色ブドウ球菌などのばい菌が繁殖し、乳房炎の原因になってしまいます。これを防ぐには、ディッピング後に30秒ほど経過してからキッチンペーパー等で清潔に軽く乳頭を拭いてあげるのが効果的です。また、ゼノアック（日本全薬工業（株））から乳頭の皮膚保湿成分が配合された冬季にも適したディッピング剤（ウィンターエイド）も販売されています。もし、肌荒れがひどく出血等もおこしていれば、獣医師に相談し軟膏等の治療が必要になります。

検定成績表で昨年の12、1、2月の体細胞数を確認してみてください。もし、冬季に体細胞数が上がっているようでしたら、今年の冬は乳頭の肌荒れを注意してみてください。



未経産牛を牛群検定に早期加入させよう！

下図は、最近の未経産牛の牛群検定加入状況です。一昔前と異なり、現在は未経産牛の牛群検定加入頭数は日々増加しています。これは、牛群検定が単に乳量をはかるだけでなく繁殖管理や遺伝改良に大きな役割を持つという認識が着実に広まっているからと考えられます。しかも、**未経産牛は検定負担金が無料**ですから、情報を得られるだけ大変にお得です。



！ 育成段階で検定加入するメリット

- 1 分娩予定
牛群検定より授精を報告することで正確な分娩予定日等を得られます。
- 2 遺伝情報
血統情報から、遺伝能力(PA)が得られます。
- 3 次世代診断情報
初産分娩時の注意情報(難産や死産)が得られます。
- 4 交配種雄牛情報の利用
繁殖台帳Webシステムにより近交等を避けた優良な交配種雄牛の選定ができます。

今年度の調整交配は、雌牛1頭当たり1,000円の奨励金が支払われます。しかし、授精開始から受胎(またはデータ集計時点)までの、全ての授精記録の報告があることを条件にしていますので、特に未経産牛への調整交配にあつては、**初回授精を行う前に対象の未経産牛が牛群検定に加入し、全ての授精の記録を牛群検定を通じて報告できる体制がとられていることが要件になります。**(初回授精が調整交配でなくとも同様です)

「牛群検定Q & A」を開設！！

牛群検定に関するお問い合わせは電話やメール、Faxなどにより、日々寄せられています。なかには、このご質問は、牛群検定に携わる方に広くお伝えしたいと思うものも多々含まれます。

そこで、今月から当団ホームページに「牛群検定Q & A」というコーナーを立ち上げました。どうぞ、ご利用ください。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kenteikodaiset.html>

牛群検定Q & A 検索

牛群検定 Q&A

例えば、以下のようなものです。

- Q 1 妊娠の判定で用いるNR法とはなんですか？
- Q 2 牛群検定で使用できる乳量計を教えてください。
- Q 3 次世代診断情報でPAが表示されていません。
- Q 4 検定成績表の分娩予定日に細字、太字がありますが違いは何でしょうか？
- Q 5 県内の牛群検定の平均値を知りたいのですが？
- Q 6 授精報告する際の種雄牛は、略号と名号どちらが良いでしょうか？
- Q 7 検定成績表の見方について勉強したいのですが、教科書的なものはありますか？
- Q 8 乳期成績が非公式となる条件を教えてください。

